

学校教育における指導の基本方針

教育は、常に、普遍的かつ個性的な文化の創造と豊かな社会の実現を目指し、平和的な国家及び社会の形成者として自主的精神にみちた健全な人間の育成と、わが国の歴史や文化を尊重し国際社会に生きる日本人の育成を期して、行われなければなりません。同時に、教育は時代の変化に主体的に対応し、日本の未来を担う人間を育成するものでなくてはなりません。そのため稲沢市教育委員会では、子どもたちの安心・安全で魅力的な教育環境を追求していくとともに、子どもたちの知・徳・体にわたる「生きる力」を育み、自ら夢や希望に向かって「未来を切り拓いていく力」を育むことが重要だと考えています。

稲沢市は、「子育て・教育は稲沢で!」をスローガンに掲げ、教育の充実に力を入れています。その趣旨を踏まえ、稲沢市教育委員会および関係各課、家庭、学校、地域がそれぞれの責任によって、より一層連携するとともに、**これまでの稲沢市教育委員会の取組と「あいちの教育ビジョン2025 ー第四次愛知県教育振興基本計画ー」をもとに**、以下のように指導の基本方針を定め、積極的に稲沢市の教育行政の推進を図っていきます。

《 指導の基本方針 》

- 1 自ら学び、広い視野をもって深く考え、自らの可能性を伸ばす力を養う。
- 2 礼節をもって自らを律し、多様性を尊重する豊かな人間性を養う。
- 3 心や体を鍛え、社会をたくましく生き抜く力を養う。
- 4 稲沢の魅力を学び、稲沢を愛する心を育むとともに、グローバル社会において生き生きと活躍できる人材の育成に努める。
- 5 子どもたちが学ぶ喜びを感じる魅力的な教育環境づくりに努める。



稲沢市役所

稲沢市教育委員会の取組

子ども一人一人はさまざまな可能性を秘めた大切な存在です。そうした子どもたちの安心・安全な環境の追求と知・徳・体にわたる「生きる力」の育成を目指し、本年度の学校教育における指導の基本方針を示しました。

学校教育では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学習用タブレットPC等のICT機器を効果的に活用することで、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の一体的な充実を目指し、これからの時代に求められる資質・能力の育成に努めていきます。また、深刻化する不登校やいじめ等の生徒指導上の諸課題については、未然防止、早期発見・早期対応の取組を学校、家庭、関係各課と連携しながら進めてまいります。そして、児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるように安全教育の充実と、その基盤となる施設・設備の改修を進めていきます。

社会教育関係では、中間見直しを行った生涯学習推進計画に基づき、市民の学びや活動のための環境を整備し、人々のつながりのある地域づくりを目指します。また、部活動の地域移行も含めた生涯スポーツの在り方の検討や、第4次子ども読書活動推進計画の策定を進めてまいります。美術館では、荻須画伯の常設展とともに特別展「安野光雅展」等、各種催しを予定しています。保護者、地域の皆様の温かいご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

稲沢市教育委員会教育長 広沢 憲治

(令和6年度当初見込数 令和6年3月1日現在)

学校種別	学校数	児童生徒数	学級数	教職員数 (単位: 人)					
				校長	教頭	教諭	養護教諭	県事務職員	栄養教諭
小学校	23	6,784	320	23	23	388	23	25	8
中学校	9	3,534	128	9	9	214	9	9	2
計	32	10,318	448	32	32	602	32	34	10

庶務課

安心安全な教育環境の整備と学校給食の充実を目指します。

○ 安心安全な教育環境の整備

○ 大里東小学校改築事業

建築後60年以上経過し、老朽化が著しい大里東小学校の校舎棟を改築します。令和6年度は実施・解体設計業務を実施します。

○ 小中学校長寿命化改修事業

老朽化した学校施設について、外壁・屋根防水・給排水設備等を中心に、長寿命化改修を実施します。令和6年度は大里西小学校、明治中学校の改修工事を実施するほか、祖父江小学校、山崎小学校の2校の長寿命化改修設計業務を実施します。

○ 小中学校校舎棟トイレ洋式化事業

校舎棟トイレ洋式化に向け、令和6年度は下津小学校ほか4小学校、明治中学校ほか2中学校の改修工事を実施するほか、国分小学校ほか3小学校、千代田中学校の設計業務を実施します。

○ 小中学校配膳室空調整備事業

安心安全な給食提供のため、小中学校の配膳室等に空調を整備します。令和6年度は清水小学校、片原一色小学校、国分小学校、坂田小学校の4校の整備工事を実施します。

○ 屋内運動場空調整備事業

中学校の屋内運動場に空調設備を整備します。令和6年度は稲沢中学校、治郎丸中学校、稲沢西中学校、祖父江中学校の4校の整備工事を実施します。

○ (仮称)井之口調理場整備事業

老朽化し衛生環境の改善が必要な単独調理場を集約し、新たな共同調理場を整備するため、引き続き令和6年度中の完成を目指して、工事を実施します。

○ 学校給食の充実

- (1) 環境に配慮した地元の野菜等を取り入れ、地域の食文化や食の大切さ、自然・環境など食育の充実に努めます。
- (2) 児童生徒への食に関する指導を通じた健全な心と身体の育成に努めます。

学校教育課

次代を担う子どもたちの健全な育成のため、 活力ある教育活動を展開する学校づくりを目指します。

○ 自ら学び、広い視野をもって深く考え、自らの可能性を伸ばす力を育む

- (1) 一人一人の個性や生活環境の違いなどに応じたきめ細かな教育に努める。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、主体的、協働的に学び、深く考えることを通して、様々な課題を解決し、自分らしく生きていく力を育む。
- (3) 児童生徒の発達段階や興味・関心等を踏まえて、タブレットPC等のICT機器を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に努める。
- (4) 総合的な学習の時間などを通してSDGsの理念や意義を学ぶとともに、各教科や活動にSDGsを関連付けた学習を推進する。
- (5) 特別支援教育の充実を図り、障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する。

○ 礼節をもって自らを律し、多様性を尊重する豊かな人間性を育む

- (1) 命を大切にできる心や他人を思いやる心、人権を尊重する心を育てる。
- (2) 社会の担い手として多様な人々と手を携えて生きていける、豊かな人間性と確かな実践力を育む。
- (3) 善悪についての判断力や望ましい社会性、正義感や公正さを重んじる心等の育成に努めるとともに、自己の生き方について考えを深める態度を育む。
- (4) 互いのよさを認め合い、共感的に学び合う集団づくりに努める。

○ 心や体を鍛え、社会をたくましく生き抜く力を育む

- (1) 児童生徒の体力向上に向けて、学校体育の充実を図り、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、体力を高められるような児童生徒の育成に努める。
- (2) 健やかな体と心を育むとともに、生涯にわたって豊かに生きる意欲にあふれ、安全で健康な生活を営んでいくためのたくまさを培う。

○ 稲沢の魅力を学び、稲沢を愛する心を育むとともに、グローバル社会において生き生きと活躍できる人材を育成する

- (1) ふるさとに学び、ふるさとを愛する心を育む。
- (2) 一人一人の能力・適性に合わせたキャリア教育を充実させ、社会の激しい変化の中でも自分をしっかりと持って、稲沢を担っていく進取の精神を育む。
- (3) グローバル社会において、多様な人々と生活し協働する中で、物事を多面的に捉える見方や考え方を身に付け、稲沢、日本、そして世界を担っていく気概や意欲を育む。

○ 子どもたちが学ぶ喜びを感じる魅力的な環境づくりを進める

- (1) 児童生徒や学校、地域の実態を把握し、各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを推進する。
- (2) 学校と地域が教育目標やビジョンを共有する「社会に開かれた教育課程」を実現し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」づくりを推進する。
- (3) 多様な教育的ニーズのある児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えた教育環境の充実に努める。
- (4) 児童生徒とのつながりを大切に教育活動を進め、児童生徒の健やかな学びを保障するよう努める。

【主な事業】

- 学校安全表彰（学校安全ボランティア活動奨励賞）（祖父江小）**新規** ○学校安全優良校表彰（明治中）**新規**
- 体力づくり優良校顕彰（大里東小）**新規** ○体力向上推進事業（大里東小）
- 主体的・対話的で深い学びを実現するための探究的な授業づくりに関する研究（治郎丸中）**新規**
- 魅力ある学校・学級づくり推進事業（法立小・稲沢中）
- 特別支援教育推進モデル事業（全小中学校） ○特別支援学級等設置校学校訪問（稲沢東小・大里東中）**新規**
- 部活動指導員配置事業 ○部活動地域移行研究事業（治郎丸中）
- キャリアスクールプロジェクト（全中学校） ○キャリアスクールプロジェクト（丸甲小）
- キャリア教育推進事業 ○学習指導・評価研究推進事業 ○ふるさと新発見学習推進事業
- 特色ある学校づくり推進事業 ○防災教育実践指定校（大塚小・三宅小） ○平和教育推進事業
- 特別支援教育支援員配置事業 ○外国語指導助手（ALT）配置事業 ○ICT支援員配置事業
- スクールカウンセラー配置事業 ○スクールソーシャルワーカー配置事業 ○心の教室相談員配置事業
- 適応支援教室「明日花」「明日花・東分室」 ○セーフティ・プラスワン事業<安全サポート・学習活動支援>

生涯学習課

社会変化に応じた市民の学びや活動環境を整備し、人々のつながりのある地域づくりを目指します。



名古屋文理大学文化
フォーラム（稲沢市民会館）

- 生涯学習の推進事業
- 文化芸術の振興事業
- 文化財保護事業
- 青少年健全育成の推進事業
- 市民会館整備事業

- 今後5年間の中間見直しを行った生涯学習推進計画に基づき、成人教育や家庭教育などの各種講座の企画や急速に進むDXを活用した情報提供、生涯学習関連施設との連携を図り、市民の学習活動を支援します。また、地域学校協働活動を進め、地域の協力を得て子どもの成長と学びを支え、地域全体による連携・協働の体制づくりの推進に努めます。
- 名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）を拠点として、稲沢市文化振興財団をはじめ、稲沢市文化団体連合会などの市民団体との連携や「文化振興奨励補助金」による活動支援、市民の文化活動の発表の場である「文化グループ発表会」などの事業を通して、文化芸術活動の継承、振興・普及に努めます。
- 市内に所在する史跡や有形などの多くの文化財を保護・保存しながら、その活用を図ります。また、文化財への関心を高めるため、稲沢の文化財展、文化財公開デーや文化財講座により啓発を図るとともに、将来に向けた文化の継承のため稲沢文化財愛護少年団の育成に努めます。
- 家庭、学校、地域などが一体となって青少年の健全育成事業に取り組むとともに、青少年健全育成市民大会を始め、少年愛護センター指導員による街頭指導活動により、啓発に努めます。



稲沢市祖父江生涯学習
センター「ソブエル」

スポーツ課

明るく活力ある社会をつくるため、市民がいつでもスポーツに親しむことができる環境づくりを目指します。

- 年齢やライフスタイル、目的に応じた新しいスポーツの普及に努めます。
- スポーツ協会、スポーツレクリエーション協会等スポーツ団体の活動を支援します。
- トップアスリートとの交流事業をはじめ、ジュニア選手の育成強化を図ります。
- 市民が余暇時間を利用して健康増進や生き甲斐づくりのためのスポーツ活動に取り組める環境づくりに努めます。



稲沢市陸上競技場



尾西信金いなざわアリーナ
（稲沢市総合体育館）

- スポーツ振興事業
(1)スポーツ普及振興 (2)スポーツ団体の育成、充実 (3)スポーツ振興基金の運営
(4)トップアスリートとの交流事業 (5)スポーツ推進委員活動の推進 (6)生涯スポーツの推進
- 体育施設維持管理
(1)公共体育施設の適切な管理運営及び利用の拡大を図ります。
(2)学校開放体育施設の整備及び有効利用を図ります。
- 体育施設整備事業
(1)市民球場ほか改修工事(照明設備) (2)祖父江の森改修工事(照明設備)

図書館

生涯学習及び情報発信の拠点として、地域に関われ市民に親しまれる図書館づくりを目指します。

- 一般書、児童書、コミック及び参考図書などの図書資料並びに視聴覚資料の充実に努めます。また、稲沢市の特性を活かした歴史・文化財関係資料及び植木・造園など緑に関する資料の収集・整理・保存を進めます。
- 利用者の利便性を図り、求めに応じた資料の提供を行うほか、図書館サービス事業を推進します。
- 市民に親しまれる図書館づくりに欠かせないボランティア団体を支援し、協働して様々な図書館活動を展開します。
- 各種ボランティア養成講座を開催し、図書館ボランティアの育成を図ります。
- 「第3次稲沢市子ども読書活動推進計画」の最終年度として、第3次計画の総括を行います。この結果及び評価に基づき、先行する国の計画なども参考にしながら第4次計画を策定します。
- 電子書籍の充実及び電子図書館の利用促進に努めます。



稲沢市立中央図書館

○図書館資料の充実

○図書館サービスの充実

- (1)乳幼児に対するサービス(ブックスタート、絵本の読み聞かせなど)
- (2)児童、青少年、成人に対するサービス(施設見学、職場体験学習の受入れ、テーマコーナーの充実など)
- (3)高齢者、障害者に対するサービス(声の図書作成・郵送サービスなど)
- (4)小中学校等への支援、市内大学との連携(小中学校への配本サービス、大学図書館との相互貸借など)
- (5)図書館主催講座等の開催(教養講座、講演会、映画会など)
- (6)常設展示コーナーの設置(国分寺跡出土品など)

○ボランティア団体との協働及び育成

○子ども読書活動の推進

○電子図書館の充実

美術館

市民の憩いと創造の場づくりを目指します。

- 荻須記念美術館は、稲沢市出身で、フランスのパリを中心に活躍した洋画家 荻須高德の油彩・水彩・デッサン・リトグラフ等を常設展示しています。

また、特別展や企画展を開催し、美術鑑賞の機会を提供しています。さらに、一般展示室等を貸出し、市民の芸術活動や創作活動の場として広く利用されています。本年度も収集・保存、展示、教育・普及、調査・研究に努め、憩いと創造の場づくりを目指します。



荻須記念美術館

○特別展の開催

特別展 安野光雅展を開催します。安野光雅は「小さなノーベル賞」と称される国際アンデルセン賞をはじめ、権威ある数々の賞を受賞し、40年以上にわたる多彩な創作活動で、約150冊もの絵本原画を手がけた絵本作家です。本展では、「旅と物語」をテーマに、風景画で構成された代表作『旅の絵本』をはじめ、『もりのえほん』、『シンデレラ』など、約70点の絵本原画を展示し、空想力豊かな安野ワンダーランドの魅力を紹介します。

○企画展の開催

「第61回稲沢市民展」、「第45回絵になる町児童生徒絵画展」を開催します。

○学習普及事業の推進

美術に親しむ機会として、子どもを対象にした美術講座の開催、市内全小学校6年生対象の稲沢郷土学習で鑑賞教育を行います。また、乳幼児とその保護者を対象とするアートスタートや、大学パートナーシップ事業にも取り組み、幅広い年齢層に美術に親しむ機会を提供します。

○所蔵品の充実

荻須作品の寄贈や寄託を促進し、所蔵品の充実に努めます。